

会 議 録

1 会議名

令和2年度第1回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域協議会の概要について（公開）

(2) 協議事項（公開）

- ① 会長・副会長の選任について
- ② 地域協議会の運営方法等について
- ③ 年間スケジュールについて
- ④ 地域活動支援事業について

3 開催日時

令和2年5月21日（木）午後7時から午後9時まで

4 開催場所

高土地区公民館 2階 大会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木正紘、井澤裕一、上野秀平、玄蕃郁子、杉田一夫、高橋清司、
立入真太郎、田中利夫、塚田春枝、樋口里美、日向こずえ、松山公昭
(欠席なし)

・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【本間センター長】

- ・市長メッセージ代読

【委員及び事務局】

- ・自己紹介

【山崎主事】

- ・次第 4 議題「(1) 地域協議会の概要について」に入る。

【本間センター長】

- ・地域自治区制度及び地域協議会の役割について概要を説明

【山崎主事】

次第 4 議題「(2) 協議事項」の「① 会長・副会長の選任について」に入る。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が決定するまでの間は、本間センター長が議長を務めることを説明

【本間センター長】

会長・副会長の選任について事務局より説明する。

【山崎主事】

- ・会長・副会長の選任に係る規定、会長の役割について説明

【本間センター長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

では、まずは立候補を募り、立候補がなければ推薦のかたちで選出したいと思うがよいか。

(よしの声)

最初に立候補を募る。立候補する委員は挙手願う。

(立候補なし)

では推薦を受付ける。

【松山委員】

前期でも委員をしていた青木委員を会長に、また副会長には同じく前期委員であった日向委員を推薦する。

【本間センター長】

今ほど、会長に青木委員、副会長に日向委員との推薦があった。副会長については、

会長が決まった後に会長の進行にて決定したいと思う。まずは会長を決定する。他に推薦はあるか。

(発言なし)

では挙手にて採決を取る。青木委員が会長になることに賛成の委員は挙手願う。

(11 人挙手)

青木委員以外全員の挙手があったため、会長は青木委員としてよいか。

(よしの声)

会長が決定したため、副会長の選任以降の議事進行は青木会長より願う。これより青木会長と進行について若干の打合せを行うため休憩をとる。

－休憩（10 分）－

【山崎主事】

会議を再開する。先ほど青木委員が高士区地域協議会会長に選任されたため、これ以降の議事進行は青木会長より願う。

【青木会長】

・挨拶

では、副会長の選出を行う。先ほど、松山委員より日向委員の推薦があった。その他に推薦等あるか。

前期までは副会長 1 人であったが、複数人としてもよい。

自分の考えとしては、先ほど推薦のあった日向委員は非常に適任ではあるが、お子さんも多く多忙である。そのため、できることであれば副会長をもう 1 人選出したいと思っているがよいか。

(意見なし)

では、もう 1 人副会長の選任を行う。立候補・推薦等のある委員の発言を求める。

(よしの声)

推薦等なければ、自分から推薦してもよいか。会長が推薦することは好ましくないかもしれないがお許し願いたい。

自分としては、もう 1 人の副会長に、長年、高士地区振興協議会で役員として支えていただいた高橋委員を推薦し、自分を手助けしてほしいと思っているがよいか。

(よしの声)

では、1 人目の副会長は高橋委員に決定する。

次に日向委員について承認する委員は挙手願う。

(挙手多数)

では、副会長に決定した高橋委員と日向委員には地域協議会の運営がスムーズに進むよう手助け願う。

【藤井係長】

副会長が2人いる場合は、会長代理をする順番を決定してほしい。

－会長・副会長にて打合せ－

【青木会長】

2人の副会長が決定したが、会長が不在の際等に会長代理を行う順位を決めておかなければならない。今ほど会長・副会長にて打合せをし、代理の第1順位を高橋副会長に、第2順位を日向副会長にと決定したため、承知願う。改めて副会長2人より挨拶願う。

【高橋副会長】

・挨拶

【日向副会長】

・挨拶

【青木会長】

以上で次第4議題「(2) 協議事項」の「① 会長・副会長の選任について」を終了する。

次に「② 地域協議会の運営方法等について」に入る。

最初に、「会議の座席順」について、事務局に説明を求める。

【山崎主事】

・資料No.1に基づき説明

【青木会長】

これまでと同様でよいか。

(よしの声)

次に、「会議の招集請求に必要な委員の数」について、事務局に説明を求める。

【山崎主事】

・資料No.1に基づき説明

【青木会長】

「会議の招集請求に必要な委員の数」を決定する。

これまでは「3名（4分の1以上）」とし、3人の地域協議会委員より「会議を招集したほうがよい」との意向があれば、会長が招集することとしていた。これまでと同様としてよいか。

（よしの声）

では「3名以上（4分の1以上）」に決定する。

次に「会議録の確認者」について事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料No.1に基づき説明

【青木会長】

前期と同様に「会長と名簿順に1人」としてよいか。

（よしの声）

今回の会議録は、会長である自分と名簿順で井澤委員での確認とする。

次に「会議の開催日時」について事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料No.1に基づき説明

【青木会長】

委員の中でどうしても参加できない日にち等があればお知らせ願いたい。また時間については、前期委員は「6時半」に決めていた。しかし平日の場合、仕事を引退している委員は問題ないが、有職者は時間的に厳しい面もあった。参加が難しい日程や時間等あれば、確認しておきたいと思う。

（発言なし）

特に発言等がないようであるため、前期と同様に「6時半開始」とし、日程や曜日等の指定はせず前期委員と同様の日程の決め方とする。

次に「会議の会場」についてであるが、高士地区内で会場というと「高士地区公民館」しかないように思う。そのため、今期も高士地区公民館での開催としてよいか。

（よしの声）

次に「書面による審議について」に入る。本来であれば、委員が集まって協議をしたほうがよいのだが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、書面でやりとりをしながら協議を進めていくやり方をいろいろな団体等で行っている。自分のもと

にも関係する様々な団体等から書類が届く。ほとんどが書面審査であり押印をして返却する内容が多い。これについて事務局より説明を求める。

【山崎主事】

・資料No.2に基づき説明

【青木会長】

今の説明に質疑を求める。

【玄蕃委員】

「実施の条件」の①の2つ目の「・」に「当該案件について、会議を招集し、審議するいとまがない場合」とあるが、これは例えばどのようなときのことをいうのか。また、これまでもこのようなときがあったのか。

【本間センター長】

まず、こういったケースが今まであったか否かについては、なかった。

次に「審議するいとまがない場合」というのは、答申等の期限が迫っているが、今回のコロナ対策のように「会議を招集することが適当でない」という場合について、「審議するいとまがない場合」に該当すると考えている。

【青木会長】

他に質問等あるか。

【松山委員】

これは、今期の4年間に限ってのことか。

【本間センター長】

今までは書面審議に対する取決め等がなかった。ただ今回、コロナウイルスの関係によりこういったケースが発生したため、あらかじめ決めておく必要があると判断した。これについては今期以降も継続されるものと考えている。

【松山委員】

資料では「新型コロナウイルス感染拡大防止」と記載されているが、書類による審議になりうることもあるということか。

【本間センター長】

今のような状況となった場合は書類による審議を実施することもあり得るため、そのルールをあらかじめ検討しておこうというものである。

【松山委員】

これまで、そういったことは全くなかったのか。例えば、災害の時にはどうしているのか。

【本間センター長】

過去にこのようなケースが全くなかったため、「例えば」という話もできないが、今般、4月に答申をしなければならない案件が新型コロナウイルスの関係で間に合わず、書面による審議にて実施したケースが高田区であった。しかしルールが決まっていない状況の中で行うこととなったため、今後はきちんとルールを決めるということになった。

【松山委員】

他の会議でも書面による審議を行っていたため、多分その場しのぎで行っていたのだろうとは思っていた。

【青木会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

では、この件については、今ほど事務局より説明があったように初めてのシステムということであるため、高士区として決定したいと思う。

まずは「実施の条件」については資料記載のとおりとしてよいか。

(よしの声)

次に「実施の判断」について意見を求める。

【上野委員】

会長が1人で決定するのは、非常に困難なことだと思う。そのため、「正副会長の協議により、会長が決定」がよいと思う。

【青木会長】

他に意見等あるか。

(発言なし)

では、「正副会長の協議により、会長が決定」することとする。

次に「表決」に入る。資料上部に記載の「委員の過半数の意思表示をもって会議の議決があったものとみなす」としてよいか。

(よしの声)

では、委員の過半数である6人以上の意思決定をもって決定することとする。

次に「附帯意見の取扱」についてである。資料には3つの案が記載されている。これはものにより判断が異なるようにも思う。

【松山委員】

例えば、「附帯意見」と明記されたものについて判断するのだと思うため、自分としては委員全員が集まり決定したほうがよいと思う。これは、文字に起こされたものについて話をするとした場合のことである。

【青木会長】

他に意見等あるか。

(発言なし)

【本間センター長】

今、協議している内容は、「集まらない場合にどうするのか」ということである。そのため、委員が集まらない代替りの方法として考えてほしい。資料記載の3つ目の案にある「意見集約」の部分がわかりにくいのだが、これは附帯意見についてどのような意見が出たかを紙に起こし、それをもう1度委員全員が確認をする。その結果として委員の了承が得られた場合に地域協議会の審議結果として提出する流れになるということである。

【青木会長】

改めて意見を求める。

【上野委員】

今ほどの本間センター長の説明にもあったように、委員が集まらない場合のことである。「会長が決定」や「正副会長の協議により会長が決定」ということではなく、書面を各委員に出すかたちになる、「意見集約の結果及び答申案の確認において、要否を表明」がよいと考える。

【青木会長】

他に意見等あるか。

(発言なし)

では意見のあった3つ目の案としてよいか。

(よしの声)

では3つ目の案に決定する。

次の協議に入る。資料No.1に戻ってほしい。資料裏面に「地域協議会だよりの発行」

と「自主的審議の提案方法」とある。これについて事務局に説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料No.1に基づき、詳細は改めて審議いただくことを説明。

【青木会長】

以上で次第 4 議題「(2) 協議事項」の「② 地域協議会の運営方法について」を終了する。

次に「③ 年間スケジュールについて」事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料No.3に基づき説明

【青木会長】

今ほど事務局より、年間スケジュールについて説明があったが、8月以降のスケジュールについては改めて諮ることとし、7月までのスケジュールについて質疑を求める。

【玄蕃委員】

初めてのことなので的外れた質問であったら申し訳ない。先ほど、書面による審査を行っていく方向の話があった。例えばヒアリング等はどうなるのか。7月までに採択とのスケジュールを組んだ場合、ヒアリングはどのような方法ですか。

【青木会長】

それについては、この後審議いただくことになっている。他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で次第 4 議題「(2) 協議事項」の「③ 年間スケジュールについて」を終了する。

次に「④ 地域活動支援事業について」事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・参考資料 1、資料No.4に基づき説明

【青木会長】

これまでは1団体あたり10分程度、事業内容等を説明した上で、若干の質疑応答を行うヒアリングという工程を行っていた。今ほど事務局より説明があったように、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを避けるため、今年度に限りヒアリングの工程に代えて、書面による質問・回答の形式にて審議するかたちを考えている。

自分の前期4年間の委員経験でいうと、ヒアリングについてはどちらかといえば形式めいた説明で終わっていたようなところもあったと思う。今年度に限っては、疑問点等を整理した上で、書面による質問・回答としてもよいと思っている。これについて意見を求める。

【松山委員】

書面による質問・回答とした場合、参考資料3にある「記載例」を全事業を対象に記入するということか。

【藤井係長】

今ほど松山委員が示した資料は、採点をするときに使用する「採点票」の記入例になる。今、協議してほしい内容としては、今年度に限りヒアリングに変えて質問書でのやりとりとするか否かということである。いずれにしても、ヒアリングあるいは質問票の確認後に採点票をつける流れとなる。

【青木会長】

審査は各委員が判断し採点したものを集約し、その後平均点を出す流れになる。その前の工程として、提案者が事業説明を行うヒアリングを実施するのか、またはそれに代えて書面による質問・回答とし事務局でとりまとめたものを見て採点をするのか、ということである。

【松山委員】

ヒアリングを実施するか否かということか。

【青木会長】

そうである。

【立入委員】

初めてであるため、最初にスケジュールの確認をしたい。先ほどの話の中で「次回の協議会日程は前回の協議会の時に決定するとの話があったが、このスケジュール案を見ると第2回・第3回の地域協議会はこの期間内で実施しなければ、先のスケジュールに変更が生じるということで大丈夫か。

例えばスケジュール案1の場合、第3回は「6月29日から7月3日」の間に開催することがすでに決定事項ということでしょうか。

【藤井係長】

一応、事務局として案としてスケジュールを入れているのだが、地域協議会の開催

が早まれば採択決定が早まり、逆に開催が遅くなれば決定が遅くなるということである。そのため、必ずしもこの日程でなければならないということではない。

【立入委員】

理解した。

次に、どちらのスケジュールにするのかについては、自分は初めてであるため、できることであれば書面による質問・回答というよりは、実践方法でのヒアリングのほうが本来はよいと思っている。しかし先ほどの「書面による審議について」の協議の中で、実施の判断に関しては「正副会長の協議により決定」と決まったため、最終的な決定については正副会長で決めてもらえればよいと思っている。

【青木会長】

他に意見はあるか。

【上野委員】

ヒアリングを実施するか否かについては、「6月8日から12日までの間」と事務局にて案を出している。この時期に新型コロナウイルス感染拡大防止により緊急事態等になった場合、書面による質問・回答をやるほかないと思う。

しかし、この場で「書面による質問・回答」と決定した場合、ヒアリングは実施されないことが決定してしまうことになる。ヒアリングは提案者の生の声を聞くことができるため、現時点ではヒアリングを実施すると決定しておいたほうがよいと思う。

ただ緊急事態等により実施が困難な状況になった際には、書面に切り替えるかたちとしたほうがよいと思う。

【青木会長】

初めての委員も多いため、どのように審査が進んでいくのか実際に知ったほうがよいと思う。経験のある自分としては、ヒアリングを実施しなくともよいとも思ったが、確かに地域協議会が初めての委員のことを考えると実際に提案者の本当の気持ちを聞くことが本来のかたちであると思う。

【松山委員】

イメージとしては、ヒアリングに全ての提案団体が参加し事業説明を行うのだと思うが、まとめて行うのではなく、次々とまわしていけば問題ないように思う。数名ずつに分け、必ず数メートル離れている状況とすればよい。もし、1日で終わらなければ2日間としてもよいと思う。やはり実際にヒアリングを行ったほうがよいと思って

いる。

【青木会長】

では、ヒアリングを実施するという事でよいか。

(賛成多数)

では「スケジュール案1」の従来どおりヒアリングを実施することに決定する。

引き続き、ヒアリング後の流れについて事務局より説明を求める。

【山崎主事】

・参考資料2、3、4に基づき、採点方法、審査方法、昨年度の採択状況について説明

【青木会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

【松山委員】

参考資料4の前年度の採択状況についてである。昨年度、3つの事業が不採択となっている。どういったことが理由で不採択となったのか教えてほしい。

【青木会長】

『男の料理教室』開催事業については、何年も継続してきた事業ではあったが、昨年度は提案数も多く、配分額が超過していたこともあり、不採択となった。次に「交通事故のない安全安心なまちづくり事業」については、三叉路にカーブミラーを設置したいとの提案であった。これは下準備の問題というか、設置箇所等にも問題があったように思う。次に『地元野菜の魅力発見』旬の野菜クッキング事業についても「男の料理教室」と同様の理由で長年継続されてきた事業ではあったが、不採択となった。

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で4議題「(2) 協議事項」の「④地域活動支援事業について」を終了する。

次に次第4議題「(3) その他」について、何かあるか。

【山崎主事】

・次回の協議会の日程について説明

【青木会長】

—日程調整—

・次回の地域協議会：6月11日（木）午後6時30分から 高士地区公民館 大会議室

・内容：ヒアリング

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。